【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第１区分
【発行日】平成19年9月27日(2007.9.27)

【公表番号】特表2007-502117(P2007-502117A)
【公表日】平成19年2月8日(2007.2.8)
【年通号数】公開・登録公報2007-005
【出願番号】特願2006-523401(P2006-523401)
【国際特許分類】
*Ａ２３Ｇ　4/00　(2006.01)*
*Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)*
【ＦＩ】
Ａ２３Ｇ　3/30
Ｃ１２Ｎ　15/00　ＺＮＡＡ

【手続補正書】
【提出日】平成19年8月9日(2007.8.9)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ガム基剤部分と可溶性部分とを含むチューインガム組成物であって、当該可溶性部分はモナチンまたはその塩を含む、前記組成物。
【請求項２】
前記組成物の量は、モナチンまたはその塩の代わりにショ糖を含有する同じ量のチューインガム組成物より、少ないカロリーと炭水化物とを含む、請求項1のチューインガム組成物。
【請求項３】
モナチンまたはその塩を含むチューインガム組成物であって、当該モナチンまたはその塩は、チューインガム組成物中にモナチンまたはその塩の代わりの他の強力甘味剤と比較して、長期の甘味と明らかなまたは増強された風味を与える量で存在する、前記組成物。
【請求項４】
前記他の強力甘味剤は、アスパルタームまたはスクラロースから選択される、請求項3のチューインガム組成物。
【請求項５】
モナチンまたはその塩により与えられる増強された長期の甘味を有するモナチンで甘くしたチューインガム組成物の製造法であって、
(a)生合成経路を介してモナチンまたはその塩を産生するステップ；
(b)当該モナチンまたはその塩を他の成分と組合せるステップ；および
(c)チューインガム組成物を生成するステップ、
をむ、前記方法。
【請求項６】
モナチンまたはその塩を含むチューインガム組成物であって、当該モナチンまたはその塩は増強された長期の甘味を与える量で存在する、前記組成物。
【請求項７】
前記モナチンまたはその塩は、アスパルタームまたはスクラロースと比較して、長期の甘味を与える量で存在する、請求項1のチューインガム組成物。

【請求項８】
前記可溶性部分は柑橘類風味をさらに含む、請求項1のチューインガム組成物。
【請求項９】
前記可溶性部分は柑橘類風味をさらに含み、かつ前記モナチンまたはその塩は柑橘類風味により提供される風味を増強する量で存在する、請求項1のチューインガム組成物。
【請求項１０】
前記組成物は、0.001～1.1wt％のモナチンまたはその塩を含む、請求項1のチューインガム組成物。
【請求項１１】
前記組成物は、0.009～0.1wt％のR,Rモナチンまたはその塩を含む、請求項1のチューインガム組成物。
【請求項１２】
組前記成物は、0.1～1.1wt％のS,Sモナチンまたはその塩を含む、請求項1のチューインガム組成物。
【請求項１３】
前記組成物は、0～1.1wt％のS,Sモナチンまたはその塩と、0～0.1wt％のR,Rモナチンまたはその塩とを含有する、請求項1のチューインガム組成物。
【請求項１４】
組成物は、0.1wt％以下のR,Rモナチンまたはその塩を含み、かつS,S、S,R、またはR,Sモナチンまたはその塩を実質的に含まない、請求項1のチューインガム組成物。
【請求項１５】
組成物は、1.1wt％またはそれ以下のS,Sモナチンまたはその塩を含み、かつR,R、S,R、またはR,Sモナチンまたはその塩を実質的に含まない、請求項1のチューインガム組成物。
【請求項１６】
前記モナチンまたはその塩は、基本的にR,Rモナチンまたはその塩からなる、請求項1のチューインガム組成物。
【請求項１７】
前記モナチンまたはその塩は、基本的にS,Sモナチンまたはその塩からなる、請求項1のチューインガム組成物。
【請求項１８】
前記可溶性部分はシクラメートをさらに含む、請求項1のチューインガム組成物。
【請求項１９】
前記可溶性部分はエリスリトールをさらに含む、請求項1のチューインガム組成物。
【請求項２０】
ガム基剤部分と可溶性部分とを含むチューインガム組成物であって、当該可溶性部分は立体異性体的に過剰のモナチン混合物を含み、かつ当該モナチン混合物は生合成経路により産生される、前記組成物。
【請求項２１】
前記混合物は主にR,Rモナチンまたはその塩である、請求項20のチューインガム組成物。
【請求項２２】
前記混合物は主にS,Sモナチンまたはその塩である、請求項20のチューインガム組成物。
【請求項２３】
ガム基剤部分と可溶性部分とを含むチューインガム組成物であって、当該可溶性部分は生合成経路により製造されるモナチン組成物を含み、かつ当該モナチン組成物は石油化学的、毒性の、または有害な汚染物質を含有しない、上記組成物。
【請求項２４】
ガム基剤部分と可溶性部分とを含むチューインガム組成物はであって、ここで可溶性部分はモナチンまたはその塩を含み、モナチンまたはその塩は、生合成経路により産生され

、組換え細胞から単離され、当該組換え細胞は石油化学的、毒性の、または有害な汚染物質を含有しない、上記組成物。

【請求項２５】

前記ガム基剤部分は3～50wt％のエラストマー；0.5～25wt％の軟化剤；2～30wt％の乳化剤；5～75wt％の樹脂；および0～20wt％の充填剤を含む、請求項1のチューインガム組成物。

【請求項２６】

前記可溶性部分はバルク甘味剤をさらに含む、請求項1のチューインガム組成物。

【請求項２７】

前記可溶性部分は強力甘味剤または低血糖性炭水化物をさらに含む、請求項1のチューインガム組成物。

【請求項２８】

前記可溶性部分は風味剤をさらに含む、請求項1のチューインガム組成物。

【請求項２９】

前記可溶性部分は、モナチンまたはその塩とアセスルフェムKとの混合物を含む、請求項1のチューインガム組成物。

【請求項３０】

前記ガム基剤部分は15～30wt％の組成物を含む、請求項1のチューインガム組成物。

【請求項３１】

モナチンまたはその塩を含むチューインガム組成物の製造方法であって、グルコース、トリプトファン、インドール-3-乳酸、インドール-3-ピルビン酸、およびモナチン前駆体から選択される少なくとも1つの基質から、モナチンまたはその塩を製造することを含む、前記方法。

【請求項３２】

モナチンまたはその塩を含むチューインガム組成物の製造方法であって、生合成経路を介してモナチンまたはその塩を製造することを含む、前記方法。

【請求項３３】

モナチンまたはその塩を含むチューインガム組成物の製造方法であって、少なくとも1つの生物学的変換を使用してモナチンまたはその塩を製造することを含む、前記方法。

【請求項３４】

前記チューインガム組成物が、0～1.1wt％のS,Sモナチンまたはその塩と、0～0.1wt％のR,Rモナチンまたはその塩とを含む、請求項31の方法。

【請求項３５】

モナチン組成物を含むチューインガム組成物の製造方法であって、(a)組換え細胞中で生合成経路を介してモナチンまたはその塩を製造するステップ；(b)当該組換え細胞から当該モナチン組成物を単離するステップ、を含み、ここで当該モナチン組成物はモナチンまたはその塩と他の食用または飲用の物質とからなる、前記方法。

【請求項３６】

モナチンまたはその塩と、エリスリトール、トレハロース、ソルビトール、マンニトール、マルチトール、キシリトール、アリテーム、タウマチン、スクラロース、アスパルターム、アセスルフェムK、ジヒドロカルコン、サッカリン、ネオテーム、シクラメート、ステビオシド、モグロシド、タガトース、イソマルト、ラクチトール、グリチルリチン、フィロヅルシン、モネリン、マビンリン、ブラゼイン、クルクリン、ミラクリン、およびペンタジンから選択される少なくとも1つの他の成分とを含む、チューインガム組成物。